

八幡平市商工会経営発達支援計画に係る事業評価（令和3年度実施事業）

<p>令和3年度実績 (2年目) —内部評価—</p>	<p>1. 経営発達支援事業の内容</p> <p>(1) 地域の経済動向調査に関すること 地域の経済動向分析として、国が提供するビッグデータ「RESAS」や岩手県等の統計調査情報等の公表 実績：ビッグデータ「RESAS」1回、岩手県等の統計調査情報等5回</p> <p>(2) 経営状況の分析に関すること 事業者と経営指導員等が経営課題等を共通認識とするため、ローカルベンチマーク等を使用し経営状況分析を実施する。 実績：経営状況分析数 年33件</p> <p>(3) 事業計画策定支援に関すること 事業者が限られた経営資源を有効に活用できるよう、「個別相談会」や巡回支援を実施し、経営状況分析や需要動向調査の結果を用いて、事業計画策定を支援する。実績：事業計画策定数 年86件</p> <p>(4) 事業計画策定後の実施支援に関すること 事業計画の進捗状況等により、事業計画策定30社のうち、フォローの回数は、10社は毎月1回、10社は四半期に一度、他の10社については年2回とする。 実績：フォローアップ対象事業者数31社</p> <p>(5) 需要動向調査に関すること マーケットインの事業計画策定や販路開拓に役立つよう市場需要動向調査等で得た情報を提供する。 実績：食品対象事業者数年10社、工芸対象事業者数年3社</p> <p>(6) 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること 小規模事業者が多様化する顧客ニーズを的確に把握するために調査・分析・情報提供をすることで、小規模事業者の商品開発や新サービスの提供、新たな販路拡大、需要開拓、売上の増加・利益確保に繋げていく。 各種商談会や展示会等の機会を提供し、商材の発掘から商談、フォローアップまでの一貫した支援を行う。 実績： ①八幡平市フェア展示販売会（4会場 延19日）支援件数11社、売上額3万円以上／社 ②八幡平市食と工芸の商談会（カイハウス事業分）（4回）支援件数15社、成約件数7件 ③当会運営「ハチクラWEB」を活用したインターネット販路開拓支援 支援件数20社、売上額1.9万円／社</p> <p>2. 地域経済の活性化に資する取り組み</p> <p>(1) 地域経済の活性化に資する取組に関すること</p> <p>3. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組</p> <p>(1) 他の機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報 (2) 経営指導員等の資質向上等に関すること (3) 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること</p>
-------------------------------------	--

事業評価委員会

(R4年6月24日)

総括

I 経営発達支援事業（伴走型支援）について

- ① 経営分析セミナーは、新型コロナウイルス感染症の影響で参加者を集めることが難しく、集団セミナーによる分析件数が目標値に届かない状況だが、セミナーにこだわらず持続化補助金やものづくり補助金、事業承継支援など個別に進める経営計画作成における分析件数も含めるべきではないか。また、コロナ対策助成金等への申請支援でも多くの経営分析を行っていることが認められるので、一連の支援についても目標値を上回る取り組みが行われていると評価したい。
- ② 東京とWEBを活用した事業を展開し、交流もできている。件数や数値では測定できないことが多く、内部評価以上の効果が認められる。
計画策定後のフォローアップで実績が認められる。金融相談などで厚い対応が行われ、まさしく伴走型支援を実施している。需要動向調査においては生産者と消費者を結びつける工夫した方策が必要な中、定着したグルメスタンプラリーでは他市町村への広がりにより来訪者が広がったことによって、今後のコロナ後の八幡平市への回遊が期待できる。
- ③ コロナ禍で対面販売に代わるオンラインが中心となり、プレゼンの工夫が求められるが、事業計画に近づけたことは評価したい。
- ④ 経営状況の分析に関しては、ローカルベンチマーク「経営分析シート」を活用した経営分析が例示されているものの、支援する持続化補助金等の作成支援に応じて、他の手法も用いて柔軟に実施することで、引き続き、効果的な事業展開をして頂きたい。
- ⑤ 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事業の「①八幡平市フェア展示・販売会出展事業の販路の拡大（BtoC）」や「②八幡平の食と工芸の商談会開催事業などを活用した販路の拡大（BtoB）」については、コロナ感染症の状況や市場動向に合わせ、開催場所や開催形態を必要に応じて柔軟に変更して実施することで、引き続き、効果的な事業展開をして頂きたい。

II 地域経済の活性化に資する取り組みについて

- ① 観光イベント、担い手育成事業などコロナ禍でできる限りの取り組みが行われている。
- ② コロナ禍にあって代替事業として事業を変更し、工夫した取り組みを評価する。
- ③ 平館高校に対する支援や担い手育成事業を通じて地域に残る多くの人材に期待したい。興味をもった高校生に対して、就職や進学後のUターンによる就職など、いかに地域が取り込めるかが大切だと思う。
- ④ 中止となった事業が一部あったが、誘客促進事業や担い手育成事業等出来る限りの取り組みが行われた。今後も期待したい。

III 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取り組みについて

- ① 事業評価委員会は外部委員を含めた開催を最低2回開催したほうが良い。（1回は内部委員による開催で良い）
- ② 支援力向上のための取り組みでは、関係機関との交流や情報共有により職員の資質向上への取り組みを評価したい。

IV I～III全体としての評価

- ① 実績、効果は数値だけで示されない面がある。多くの項目で数値を超えた内容と推察されることから、公表される報告書には数字で表せない効果や、何が次につながっていくのか「次の展開」を記載すべきである。
- ② 全体として、コロナ関連の支援事業等の事務量が前年度にもまして多かったと思われる中、職員が一体となり「経営発達支援計画」事業はおおむね達成できたのではないかと評価したい。

令和3年度（2期目2年目）経営発達支援計画の実施内容（内部評価シート）

実施者名	八幡平市商工会		
実施期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日（5ヵ年）		
目標	<p>八幡平市は、自然景観・温泉・スキー場などの質の高さを誇る全国有数の観光地であるとともに地域特性を活かした農畜産物も豊かな地域であるが、急速に進展する少子高齢化や人口減少の進展等により小規模事業者の廃業が目立っているため、八幡平市商工会は</p> <p>目標1. 小規模事業者の経営力向上の取り組みに対する支援 目標2. 創業・起業及び円滑な事業承継による小規模事業者への支援。 目標3. 農水産品や観光資源、工芸などの地域資源の活用による地域経済の底上げを図る。 目標4. 他の支援機関及び地域団体との連携による仕組みづくりの構築 目標5. 小規模事業者の経営力向上に応える支援体制の構築</p>		
評価規準	評価基準は ・A → 実施され効果（活用）が見られたもの、もしくは期待できるもの ・B → 実施されたが効果（活用）があまり見られない、もしくは不明のもの ・C → 実施されたが、回数・件数が目標を下回っているもの ・D → 実施されなかったもしくは、実施されたがほとんど達成することができなかった	※数値目標に対する達成率が100%以上 ※数値目標を概ね達成（80%～99%） ※数値目標の半分程度（30%～79%） ※数値目標（30%未満）	
事業内容	令和3年度目標	令和3年度実施内容（実績）	評価記入欄
	1. 経営発達支援事業の内容 （1）地域の経済動向調査に関すること 小規模事業者に対して的確な支援を行うため、地域の経済・消費動向等を把握し、そのための情報収集・分析、成果の提供等を行う。新たに、国・県の統計情報「RESAS」（地域経済分析システム）を収集し、小規模事業者が分かりやすいようデータを加工し、提供する。 事業内容 ① 国が提供するビッグデータの活用 商工会ホームページ 年1回公表 ② 岩手県等の統計調査情報等の活用 商工会ホームページ 年2回公表	（目標に対する実績） ① 商工会 HP 年1回公表 ② 商工会 HP 年2回公表	評価 理由 RESAS のビックデータ等を収集し加工を行い、HPに掲載しました。 ① 地域経済分析システムによる八幡平市の現状 その他、中小企業景況調査等を2回掲載しました。 ① 宿泊旅行統計調査

	<p>(2) 経営状況の分析に関すること</p> <p>事業計画の策定に結び付け、策定後の実施支援（フォローアップ）を適切に実施するため、事業者の財務状況、強み・弱みなど、当該事業者の状況をしっかりと把握する必要があるため、事業者本人が分析作成に加わり、分析シートの作成支援を行う。</p> <p>事業内容</p> <p>① 経営分析セミナーの開催 財務諸表の仕組みの基礎理解から基本的な分析ができるまでのスキル習得と経営戦略や経営方針の立て方を習得するために経営分析セミナーの開催。 目標：開催回数 2回 参加者数 60名（1回の開催に30名とする） 目標：分析件数 60件（内創業者の分析 3件）</p> <p>② 経営分析セミナー受講者に対する巡回、窓口相談による指導</p>	<p>(目標に対する実績)</p> <p>分析件数 33社 内創業者の分析 2件 <u>※セミナー以外の実績 延べ86社</u> (コロナ対策申請支援などの経営分析数)</p> <p>① 事業計画作成 WEB セミナーの開催(専門家活用) ・ 集団セミナー 11社</p> <p>② 事業計画作成 WEB セミナー後の参加者へのフォローアップ 件数 10社</p>	<p>② 中小企業景況調査／岩手県商工会連合会</p> <p>③ 岩手経済研究所『岩手経済研究』</p> <p>④ 岩手県信用保証協会 統計情報保証概況</p> <p>⑤ 岩手県『観光統計』</p> <p>年4回の商工会報を発行して、持続化補助金を含めた補助金や支援金の周知、新型コロナウイルス感染症に伴う事業者の影響調査（八幡平版）を行い集計した結果を掲載しました。</p> <p>A</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、県外講師を八幡平に招聘できないことで、オンラインでセミナーを実施しました。本会主催のセミナーへの参加者は少なかったものの、県連主催のセミナー等を活用し、補助金やコロナ対策申請支援の事業計画の策定に合わせて経営分析を行い、経営課題や支援ニーズの把握につながっています。</p> <p>また、コロナ禍の消費者行動の変化に対応するため、経営分析をもとにしたマーケティングや経営戦略の見直しなど、コロナ以前の事業計画の見直しを含め、再度経営分析を行ったことで、補助金申請やマル経融資関連、伴走型事業など、状況に応じた支援を実施することができました。</p>
--	---	--	--

<p>(3) 事業計画策定支援に関すること 事業計画書は、小規模事業者や創業者、事業継承者にむけて、前述の「経営状況分析シート」を基本に、「地域の経済動向調査」や「経営状況の分析」及び「需要動向調査」の結果を踏まえ、需要を見据えた事業計画の策定支援を行う。 事業内容 ① 経営分析を行った小規模事業者や創業者、事業承継者を対象とした「個別相談会」の開催 目標：参加者数 30社</p> <p>② 「個別相談会」のフォローアップとして課題となった問題点を解決するため指導員等が巡回や窓口相談で対応する。</p> <p>(4) 事業計画策定後の実施支援に関すること 事業計画作成後の支援は、現状の必要に応じて支援するスタイルから小規模事業者の事業計画に基づいて経営改善を目指した支援に転換する。事業計画策定後実施支援にあたってはミラサポ、地域金融機関等と連携するとともに専門家派遣事業を活用し、小規模事業者に寄り添った伴走型支援を行う。 事業内容 目標： フォローアップ対象事業者社数 30社 頻度（延回数） 180回 売上増加事業者件数 15社</p>	<p>① 事業計画作成 WEB セミナーの開催（専門家活用） ・個別指導 4社</p> <p>（目標に対する実績） 合計 86社（延べ） ・経営革新計画策定支援 1件 ・ものづくり補助金 2件 ・持続化補助金 8件 ・創業支援 2件 ・事業承継計画 34件 ・伴走型事業 20件 ・マル経資金 7件 ・コロナ普通貸付 2件 ・事業再構築補助金 10件</p> <p>巡回・窓口相談指導（延回数） ・巡回指導 1,601回 ・窓口指導 1,949回 ・創業指導（延回数） 巡回指導 4回</p> <p>フォローアップ対象事業者社数 31社 頻度（延回数） 276回 売上増加事業者件数 13社</p>	<p>A</p> <p>A</p>	<p>個別相談の参加者は少数でしたが、事業再構築については、専門家による支援を効果的に活用しながら、事業計画策定支援を行うことができました。経営分析を行った小規模事業者や創業者、事業承継者については、経営革新計画策定や各種補助金の申請に繋がりました。 金融相談では、依然として改善しない新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業所に対して、将来的な返済計画や借り換え、条件変更等に関し、経営分析をもとに事業計画の策定を行いました。</p> <p>フォローアップ対象事業者件数は目標より増加し、一社に対する頻度は目標では平均9回で、事業所へのフォローアップ体制の充実が図られました。事業計画策定事業所については、行動計画が明確となり、巡回・窓口指導の都度、進捗状況や改善すべき点の確認を行い、売上増加や営業利益の増加等の成果につながっています。</p>
---	---	-------------------	--

<p>(5) 需要動向調査に関すること</p> <p>全国展開支援事業や伴走型支援推進事業で支援対象とした小規模事業者「マーケットイン」の観点から市場や購買者という買い手の立場に立って、買い手が必要とするものを提供することを念頭に、買い手のニーズ調査を含めた需要動向調査を行うことによって、4. 事業計画策定支援に関することや7. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事に結びつける支援を行う。</p> <p>事業内容 八幡平市を代表とする特産品の開発をするため、店舗において、買い手のニーズ調査を含めた需要動向調査を行うことによって事業計画の見直しや新たな需要開拓に繋がる事業となる。</p> <p>目標： ①食品対象 事業者数 14社 ②工芸対象 事業者数 6社</p>	<p>カイハウスビジネスフェアやWEB販売の支援</p> <p>①食品対象 事業者数 10社 ②工芸対象 事業者数 3社</p> <p>(その他) ①グルメスタンプラリーアンケート調査実施 食事 48店舗 温泉 11店舗 参加者延 311人 (実施期間 11月1日～3月31日)</p> <p>・<u>専門家等による分析結果の情報提供及び活用</u> <u>専門家分析資料 12件</u></p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>支援効果あり 伴走型事業 20社のうち、13社の需要動向調査はカイハウス事業を通じて行うことができました。オンラインによる生産者プレゼンテーション後の販売に繋がり、多くの料理研究家に八幡平食材の魅力や生産者の想いを伝えることができました。また、その動画を一般に公開していることから八幡平の商品を多くの方に伝え、マスコミの方への宣伝アプローチにもつながっています。次回への期待としては、ハチクラWEBが八幡平の食の総合サイトになり、販路開拓や業者間に刺激を与え商品開発に繋がることを期待します。</p> <p>支援効果あり 新型コロナウイルスの影響により昨年度よりもスタンプラリーの参加者が少なかったものの、八幡平市民だけでなく滝沢市や盛岡市など近隣の市町村からも人を呼び込むことができました。また、新聞折り込みなどの広告やJAF会員優遇イベント「八幡平市スタンプラリー2021」を併催で行いPRを図り、八幡平市内を回遊することが図られました。</p> <p>支援効果あり 販路開拓支援や事業承継、経営革新計画等の支援</p>
--	--	----------------------------	---

	<p>(6) 新たな需要の開拓に寄与する事業に関するこ と</p> <p>市との連携による首都圏イベント、近隣商工会連 携による有名百貨店物産展への参加、展示会・商談会 への参加を通して小規模事業者の販路開拓と八幡平 のPRを行い、更に八幡平市の農水産品や観光資源、 伝統工芸などの地域資源を活用した付加価値の高い 地域特産品やサービスを提供することにより、八幡 平市の産業を高め小規模事業者の所得や雇用の増加 を図る。まずは既存商品のブラッシュアップや新規 マーケットの開拓を行うため岩手県内外の各種商談 会事業に出展や開催を行う。</p> <p>事業内容 ①八幡平市フェア展示・販売会出展事業の販路の拡 大(BtoC) 支援件数 2社、売上額/社5万円</p>	<p>(支援事業者) <u>(株)麴屋もとみや、安比塗企業組合、(農事)わ んだい高原農場、(有)安比まいたけ、(株)ふう せつ花、山本養蜂場、(有)羽沢製菓、 Nollegretto、WILD GRAPE FARM、(株)地熱染色 研究所、tamari 窯、Ludens Beautiful Hope、 (有)清水川養鱒場、(株)ノースライン 40 プラス 8、4358 aging&anti-aging、(株)わしの尾、(企) 八幡平地熱活用プロジェクト、平岡クラフト工 房、暁プルワリー 八幡平ファクトリー、羽沢耕 悦商店</u></p> <p>(実施内容) ①八幡平市フェア展示・販売会 イ)あほやにんにく堂(東京都巣鴨商店街) ロ)ガモールマルシェ(東京都巣鴨商店街) ハ)ラペッコ(東京都門前仲町) ニ)暁タッブス銀座(東京都銀座) ・売上実績:販売実績 売上件数 560 件、売上 金額 333,011 円 売上企業 11 業者 *オフラインでの対面販売であったが、コロナ 禍であることや生産者の参加者が少なかったこ とで販売実績の少なかったものの、料理研究家 の方々も 8 名来場があり今後の注文に期待でき る。 支援件数 11 社、売上額/社 3 万円</p>	<p>A</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡 大の対策を図りながら東京の業者に 協力を得ながらイベントを実施。 協力を得た東京の事業者との取引が 継続的に続いている。</p>
--	--	---	----------	--

	<p>②八幡平の食と工芸の商談会開催事業などを活用した販路の拡大(BtoB) 支援件数 7社 成約件数 3件</p>	<p>②八幡平の食と工芸の商談会 新たな需要の開拓に寄与する事業 カイハウス×八幡平市商工会展示販売会の開催 <u>ア. オンライン生産者プレゼンテーション事業(オンライン)</u> ・視聴者 174人 ・売上実績:販売実績 売上件数 14件 売上金額 50,518円 売上企業 11業者 <u>イ. 八幡平商品の活用レシピ提案事業</u> ・レシピ開発者 20人 レシピメニュー 20種類 ・売上実績:販売実績 売上件数 30件 売上金額 171,578円 売上企業 13業者 <u>ウ. 料理教室の八幡平商品 PR 事業(オンライン)</u> ○料理研究家 5名 ・視聴者 873人 (5回合計) ・売上実績:売上件数 3件 売上金額 10,167円 売上企業 3業者 *オンライン生産者プレゼンテーションの際に購入した商品で対応したため提案者の購入金額は少ない。 対面式の料理教室が開催できないため、生徒が直接購入する機会がなく売上は少ないが、視聴者の数から今後の注文に期待できる。 ○高良康之シェフ ・視聴者 74名 ・売上実績:売上件数 19件、売上金額 41,213円、売上企業 11業者 <u>エ. キッチンステージタイアップ企画</u> 貝印(株)が運営する飲食店が伊勢丹新宿店にあり、八幡平食材を活用したメニューを提供して頂いた。 ・メニュー 「塩麴だしの肉つけうどん 乾燥まいたけと蟹の小炊き込みごはん、まいたけと焼き麴のそば粉天添え」 (価格税込 2,200円)</p>	<p>A</p>	<p>伴走型小規模事業者支援事業(新たな需要の開拓に資する事業) 支援事業所 15社 概ね達成 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響から、WEBを使ったプレゼンテーション事業を実施した。</p>
--	--	---	----------	---

	<p>③当商工会運営「ハチクラWEB」を活用したインターネット販路開拓支援</p> <p>支援件数20社、売上額/社5万円</p>	<p>・販売数量 46個 ・売上実績：売上件数5件、売上金額27,263円、売上企業4業者 ＊コロナ禍で開催期間中にまん延防止等重点措置になったため売上額が苦戦したが、収束後の売り上げが見込まれる。 ○目標に対する実績 支援件数 15社 成約件数 7件</p> <p>③新たな需要の開拓に寄与する事業 「ハチクラWEBSHOP」とSNSの情報発信、更新事業 事業者紹介公式サイト「ハチクラWEB」の運用を行うことにより、商品やサービスの特性や製造方法及び事業者の理念・想い・人柄等にスポットをあてたデジタル情報の充実化と情報発信により、小規模事業者の新規需要の開拓と売上増を支援した。支援する20社の売上や問合せなどを増やすことができた。また、マスコミに取り上げられ、店舗等での販売に貢献できた。 ハチクラWEB ショップを通じた実績 191件、約385千円。 ○目標に対する実績 支援件数20社、売上額/社1.9万円</p>	<p>A</p>	<p>支援効果あり 事業者の商品をクローズアップし、ウェブを活用した通販と連動し、需要開拓を支援実施した。目標の20社を達成できたが、売上額の目標には達することができなかった。各事業所の単価が低いために目標の5万円までは38%と低いが、売上件数が多いことから購入者数が増えたことは今後も期待できる。また、ハチクラWEBに商品を掲載していることから、マスコミ関係が検索して岩手の情報番組に多く取り上げるきっかけになっている。また、3年度はハチクラの紙面に八幡平食材を紹介して、料理教室の先生が提案した料理を掲載し、地元のペンションがレシピを再現した宿泊プランを販売。多くの方が宿泊することができたことも大きい。今後は、八幡平食材を多くの方に使って頂くため、ハチクラレシピサイトと連動し、宿泊やランチメニューに誘導する事業を展開することでハチクラWEBからの売上額が増加することが期待できる。</p>
--	---	--	----------	---

	令和3年度目標	令和3年度実施内容（実績）	評価記入欄	
	<p>2. 地域経済の活性化に資する取り組み</p> <p>（1）地域経済の活性化に資する取組に関すること 行政等関係団体と連携した賑わいの創出や滞在人口増加のための観光イベントの実施や八幡平市内の商店街等と連携した市内外からの誘客促進を図るための商店街等イベントの実施、さらに地元企業への定着率増加を図るための人材育成事業（若手経営者・後継者、高校生、小・中学生）により地域経済の活性化の取り組みを支援する。</p> <p>①八幡平市観光イベント事業の実施に向けた連携（年3回）</p> <p>②八幡平市内外からの誘客促進を図るための商店街等イベント事業の実施（年7回）</p> <p>③地元企業に対する平館高等学校生就職体験（インターンシップ）の受入支援並びに岩手県内盛岡地区高等学校進路指導教諭と地元企業との意見交換会の開催（受入企業数年20社、年1回）</p> <p>④八幡平市並びに八幡平市商工会青年部と連携した八幡平市商工会商工業担い手育成事業「子ども向け職業体験事業」の実施（年1回）</p> <p>⑤Iターン・Uターンによる市内定住・移住人口増加のための商店街空き店舗情報の提供を通じた活性化のための空き店舗対策連携会議の開催（年4回）</p>	<p>（実施内容）</p> <p>①八幡平市観光イベント事業の実施 2回 八幡平市観光イベント実行委員会 1回 八幡平市観光イベント企画部会 3回</p> <p>②誘客促進商店街イベント事業 7回</p> <p>③平館高等学校生就職体験（インターンシップ）の受入は新型コロナの影響により中止 岩手県内盛岡地区高等学校進路指導教諭と地元企業との意見交換会 1回 12社</p> <p>④八幡平市商工会商工業担い手育成事業「子ども向け職業体験事業」は新型コロナの影響により中止 「平館高等学校と八幡平市商工会青年部との地元人材確保事業」 1回 「市内中学校生徒に対する市内企業認知度向上事業」 4回</p> <p>⑤空き店舗対策連携会議 0回 新型コロナの影響により中止 安代地区の商店街の空き店舗を利用し、商店街の賑わいを持たせる事業 通年 商店街空き店舗実態調査事業（平館地区）の実施 1回 八幡平市へ空き店舗の情報提供 1回</p>	評価	理由

		<p>○目標に対する実績</p> <p>①八幡平市観光イベント事業の実施 2回 ・八幡平山賊まつり（10月9日～10日） ・八幡平・安比ゆきフェスティバル（2月5日～28日） 八幡平市観光イベント実行委員会・企画部会 計4回</p> <p>②誘客促進商店街イベント事業の実施 7回 ・ぶらっと一日体験工房受入（4月1日～3月31日） ・あしろhana花フェスタ（6月4日～9月30日） ・グルメ&温泉スタンプラリー（11月1日～3月31日） ・イルミネーションの装飾（荒屋新町商店街）（12月1日～3月31日） ・イルミネーションの装飾（平館コミセン）（11月30日～3月27日） ・イルミネーションの装飾（大更商店街）（12月20日～3月11日） ・酒と肴の器百選百様2022（3月18日～20日）</p> <p>③平館高等学校生就職体験（インターンシップ）の受入は新型コロナの影響により中止 岩手県内盛岡地区高等学校進路指導教諭と地元企業との意見交換会 1回 12社（6月15日）</p> <p>④八幡平市商工会商工業担い手育成事業「子ども向け職業体験事業」は新型コロナの影響により中止 ・「平館高等学校と八幡平市商工会青年部と</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>A</p>	<p>目標値に対し、未達ではあるが、コロナ禍において、イベント自粛が多い中、関係機関で構成されているイベント実行委員会・企画部会で開催に向けた協議をし、連携を図りながら、結果2回の開催ができた。</p> <p>目標値に対し、7回と達成しており、コロナ禍において、イベント自粛が多い中、試行錯誤しながら、イベントを実施できた。</p> <p>インターンシップ事業はコロナにより中止。また、意見交換会も開催したが、目標達成までには至らなかった。しかし、コロナ禍の開催にもかかわらず、高等学校進路指導教諭と地元企業が市内学生の就職率向上のための意見交換を行えた。</p> <p>子ども向け職業体験事業もコロナにより中止となったが、八幡平市の将来を担う人材である中学生をターゲットに、地元企業の認知度向上と八幡平の魅力を深く</p>
--	--	--	-------------------------------------	--

	<p>3. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組</p> <p>(1) 他の機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること</p> <p>「経営指導員等研修」や「経営支援事例発表会」に経営指導員等が積極的に参加し、支援ノウハウ、支援の現状、支援課題についての情報交換を行い、商工業者並びに小規模事業者への具体的な支援課題に対応するための職員の支援能力の向上を図っていくとともに、八幡平市商工観光課並びに市内及び関係金融機関との金融連絡会議を新たに設けることで八幡平市内外の景況や支援課題等について相互間の情報の共有により、地域商工業発展のための支援能力の向上に取り組んでいく。</p>	<p>の地元人材確保事業」 1回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平館高等学校×八幡平市商工会青年部企業説明会（7月29日） ・「市内中学校生徒に対する市内企業認知度向上事業」4回 ・市内中学校生徒に対し、八幡平市商工会青年部が市内のお仕事を説明紹介（3月25日、3月28日、3月29日） <p>⑤空き店舗対策連携会議0回 新型コロナの影響により中止</p> <p>但し、安代地区の商店街の空き店舗を利用し、商店街の賑わいを果たせる事業 通年（4月1日～3月31日）</p> <p>また、商店街空き店舗実態調査事業（平館地区）の実施（1月17日～2月16日）</p>	<p>B</p>	<p>知ってもらうために、担い手育成事業で漫画本を作製し、青年部が市内中学校を訪問説明ができた。</p> <p>新型コロナの影響により人流を抑えるため連携会議を実施できなかったが、商店街空き店舗実態調査（平館地区）を実施し、市へ情報を提供し、今後の課題と方向性を示せた。</p>
--	---	--	----------	---

<p>①「八幡平市地域経済対策支援会議」の開催（年2回）</p> <p>②盛岡広域商工団体定期連絡会議への出席（年1回）</p> <p>③日本政策金融公庫盛岡支店「小規模事業者経営改善資金貸付推薦団体連絡協議会」への出席（年2回）</p> <p>④八幡平市商工観光課並びに市内及び関係金融機関との金融連絡会議の開催（年1回）</p> <p>（2）経営指導員等の資質向上等に関すること 経営指導員、経営支援員の小規模事業者の事業計画策定、生産性向上や事業承継など小規模事業者の実態に応じた伴走型支援スキル向上のため、岩手県商工会連合会や中小企業大学校が実施する研修への参加や専門家派遣に同行し、分析手法や支援の進め方、指導・助言等のノウハウ、スキルの習得を図るとともに、広域経営指導員とチームを組成し、OJTの実施、定期的な職員ミーティングにより、情報及び経営支援ノウハウの共有を図り、組織的な支援能力の底上げを図る。 また、個社支援に係る分析結果や支援経過、結果等の情報、事業者ごとの指導内容や事業者情報</p>	<p>○目標に対する実績</p> <p>①「八幡平市地域経済対策支援会議」の開催（2回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八幡平市との懇談会（11月18日） ・八幡平市議会との懇談会（12月2日） <p>②盛岡広域商工団体定期連絡会議への出席 盛岡広域振興局、盛岡商工会議所での各種会議に出席</p> <ul style="list-style-type: none"> ・盛岡・八幡平元気まるごと発信事業実行委員会（4月21日） ・盛岡広域商工団体復興応援観光・物産フェア実行委員会（4月21日） <p>③日本政策金融公庫盛岡支店「小規模事業者経営改善資金貸付推薦団体連絡協議会」への出席（年1回）WEB開催（6月29日）</p> <p>④八幡平市商工観光課並びに市内及び関係金融機関との金融連絡会議の開催（1回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八幡平市金融機関との金融連絡会議（11月2日） <p>○目標に対する実績</p> <p>①専門スタッフ育成研修への参加及び資質向上の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県連主催研修会への参加 延べ 37人（21回） ・中小機構等研修への参加 1人（1回） <p>②OJT、職員間の情報共有による伴走型支援力の向上と定期ミーティングの開催</p>	<p>A</p> <p>A</p>	<p>市当局と議員に対し、市内の地域経済情勢の情報共有とコロナ禍ではあるが、他の支援機関との積極的な意見交換の場の会議が開催できた。</p> <p>職員の資質向上のための研修会に積極的に参加するとともに、事務所内でのOJT、ミーティングを行えたことは、支援体制の強化に繋がった。</p>
--	---	-------------------	---

	<p>について商工会基幹システム（事業所基本情報・指導記録管理）を活用し、一元的な管理を行う。</p> <p>①専門スタッフ育成研修への参加及び資質向上の取り組み</p> <p>②OJT、職員間の情報共有による伴走型支援力の向上と定期ミーティングの開催</p> <p>③支援ノウハウのデータベース化</p> <p>（3）事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること</p> <p>①事業評価委員会を設置し、会議を開催する。外部有識者を招聘し、年2回（年度当初と年度末）開催し、事業の実施状況、成果の評価・見直し案の提示を行う。</p> <p>②常設委員会（事業企画委員会）において、評価・見直しの方針を決定する。</p> <p>③評価・見直しの結果については、理事会へ報告し、承認を受ける。</p> <p>④評価・見直しの結果を八幡平市商工会のホームページ（http://www.shokokai.com/hachimantai/）で計画期間中公表する。</p> <p>⑤事業単位（セミナー、研修会、計画策定支援、計画実施支援、需要開拓に向けた展示会、商談会等支援）で対象企業からの「満足度調査」（アンケート）を実施し、効果、感想、要望、満足度等を把握し、商工会の事業単位でPDCAサイクルを回して事業の見直しに役立てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域経営指導員による指導、打合せ（1回） ・ 定期ミーティング及び職場内OJT実施（6回） ・ いわてビジネスイノベーションアワード6人（2月2日） <p>③支援ノウハウのデータベース化 経営支援基幹システムBIZミルデータ入力及び活用</p> <p>（実施内容）</p> <p>①事業評価委員会の開催（1回 6月28日）</p> <p>②事業評価結果の公表</p> <p>③理事会（7月6日）</p> <p>④商工会HPへの掲載（7月23日）</p> <p>⑤セミナーでのアンケート調査</p>	<p>B</p>	<p>評価委員会などで評価、提言を頂きましたが、事業実施後の「満足度調査」（アンケート）結果について、効果の検証までには至らなかったが、今後は、事業実施後の効果の検証をし、事業の見直しにより、よりよい事業運営を行えることが期待される。</p>
--	---	--	----------	---